



# のびるたけの子

10月号

令和元年 10月1日

学校教育目標

【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。  
【徳】友達のよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。  
【体】健康やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にする子を育てます。  
【公】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。  
【開】人と人のコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。

## 前期のしめくくり、後期の始まり

校長 相坂 俊

長かった暑い夏も終わり、少しずつ過ごししやすい気候になってきました。

今年の夏も、各地で様々な災害が発生し、辛く苦しい思いをしながらお過ごしの方々が多くいらっしゃいます。心よりお見舞い申し上げます。

さて、10月11日には、前期の終業式が行われます。平成31年として迎えた新学期、新たな仲間や先生と新学期のスタートを切りました。5月には、新元号「令和」となったの最初の運動会を行い、全校で力いっぱい取り組みました。天気が不安定だった梅雨、暑い日の続いた夏と、気候の面で厳しい時期もありましたが、子どもたちは日々の学校生活にしっかり取り組んできました。6か月の間に、様々なことを学び、成長を重ねてきた前期となりました。連休をはさんで、10月15日からは、学年の折り返し、後期が始まります。前期の6か月の足跡を振り返り、後期に向けて再スタートを切るよい機会としていきたいものです。

9月24日から3日間、6年生は日光・赤城宿泊体験学習へ行きました。「富岡製糸場」での歴史学習、「赤城林間学園」での集団生活、「華巖の滝」「日光東照宮」での見学と、好天のもと充実した宿泊体験学習となりました。

「赤城林間学園」では、「館内ナイトウォーク」「野外炊事」「村内ウォークラリー」「キャンプファイヤー」と、普段の学校生活ではなかなか経験できない様々なプログラムに取り組み、貴重な体験ができました。そして何より、学級や学年の仲間と力を合わせて活動に取り組んだことや、引率の先生方・ボランティアスタッフの方々とかわりながら活動に取り組んだことの意味は大きいと考えています。多くの人々とのコミュニケーションを通して、様々な課題への解決に取り組み、友達のよさを認め合いながら学べた、そんな価値ある3日間となりました。

